

2021 年度
(第 10 期)

事 業 報 告

自 2021 年 10 月 1 日

至 2022 年 9 月 30 日

一般財団法人 YS 市庭コミュニティー財団

事業報告

第10期目となりました当財団の助成事業ですが、今回も対象地域を全国としました。日本各地で精力的に活動するNPO法人、団体等からご応募頂き感謝をしています。

ここに今期の事業報告をさせて頂きたいと存じます。

- ・応募書類受付期間：2021年6月10日(木)～7月31日(土)
- 選考委員会：2021年8月27日(金) 13時より
於：太陽グラントソントン税理士法人 会議室
- ・採択通知：2021年9月30日

1 助成事業

1) コミュニティー振興及びまちづくりに関する事業

No.	団体名	事業名	助成金額
1	ふるさとかかし親の会 代表者 岡上 正人	奥播磨かかしの里 「野良着でフォトジェニック」イベント	400,000円
2	NPO 法人体験型安全教育支援機構 代表者 清水 奈穂	分散型授業下における通学路の地域見守り活動の推進	600,000円
3	「鹿野の風」プロジェクト 代表者 福田 清治	「里山まるごと花と雑木による木漏れ日計画」	1,000,000円
4	わわわやたべや町民会議 代表者 沼尻 渡	文化芸術活動を軸とした新しい地域づくりの展開とポストコロナ禍における地域コミュニティの再生	96,221円
5	特定非営利活動法人スサノオの風 代表者 石橋 正伸	佐田がんばる塾	600,000円
6	特定非営利活動法人地球対話ラボ 代表者 森 透	気仙沼とインドネシアのつながりを生かして外国人が参画するコミュニティをめざす事業・第2期	1,300,000円
7	特定非営利活動法人チャイルドケアセンター 代表理事 大谷 清美	子ども食堂の連携による地域コミュニティ強化事業	400,000円
8	特定非営利活動法人未来への扉 代表者 斉藤 勇介	外国にルーツのある子どもたちへのキャリア育成支援事業	300,000円
9	シメサイ実行委員会 実行委員長 菅原 太	シメサイ 国際コメディシアターフェスティバル 2022	750,000円
合計 (9件)			5,446,211円

※No.4 わわわやたべや町民会議は、コロナ禍の影響により活動の継続ができず、事業中止となりましたので、一般財団法人 YS 市庭コミュニティ財団助成金交付要綱の規定に則り、助成事業中止届出を受理いたしました。

2) 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

No.	団体名	事業名	助成金額
1	NOP 法人 ゆめ希望 代表者 加藤 完二	豪雪地域におけるネガティブ払しょく事業	200,000 円
2	特定非営利活動法人 うきま.jp 代表者 佐藤 加代子	地域の取材を行い、SNS で公開し地域の魅力アップに貢献する	300,000 円
3	くるりプレーパーク 代表者 平井 千明	くるりプレーパーク 2021.10～2022.9	200,000 円
4	つちうら駄菓子屋楽校 代表者 石原 之壽	平和学習音楽朗読劇（夏）と子ども広場（春・夏）	500,000 円
5	特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター 代表者 原田 紀久子	里山の恵みを届ける手仕事体験	500,000 円
6	大分言友会 代表者 村上 正	第7回吃音フォーラム大分（表現することを楽しもう）	200,000 円
7	特定非営利活動法人びーのびーの 代表者 奥山 千鶴子	ひとりにならない箕輪町PJ（調査・試行開催）	500,000 円
8	香川まるがめ子どもにほんごひろば 代表者 安藤 州一	地域在住の外国人と地域住民との協働による「みんなdeまなび舎(や)」事業	250,000 円
9	せんだいいわらアート実行委員会 代表者 広瀬 剛史	2022 せんだいいわらアートフェスティバル	600,000 円
10	NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク 代表者 齋藤 善之	みんなの史料をみんなで守ろう～歴史資料防災講習会～	400,000 円
11	じもとの学び舎 代表者 松田 誠一	ほんわか のほほん♪ じもとの学び舎～世代をつなぐプロジェクト～	350,000 円
12	NPO 法人元酒蔵の歴史的建造物群を保存・活用する会 代表者 庄司 恵雄	元酒蔵を子ども達の学びと生活体験の場所に	500,000 円
13	Learning Crisis 研究会 代表者 柴田 邦臣	コミュニティーと支援学校を繋ぐオンライン職場見学	300,000 円
14	一般社団法人伝福連携推進協議会 代表者 那須 祐助	障がい児（者）・福祉関係者向けの唐津焼作業工程動画作成	300,000 円
15	つきしみの学校 代表者 小林 遼	デジタルシステムを活用した青少年支援事業	800,000 円
16	NPO 法人アクションポート横浜 代表者 高城 芳之	横浜アクションアワード2022～動画による魅力アップ作戦	450,000 円
合計（16件）			6,350,000 円

3) 防災講座・防災シミュレーション体験講座・お料理体験講座の開催助成

No.	団体名	事業名	助成金額
1	特定非営利活動法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク CoCoT 代表者 小山 淳子	社会孤立と孤独を防ぐセーフティーネット作り事業	600,000 円
2	NPO 法人日本教育再興連盟 代表者 陰山 英男	未来につながる防災教育実践コミュニティー育成事業	300,000 円
3	特定非営利活動法人咲良の会 代表者 理事長 大西 千佳	個別支援防災計画から見守り環境づくりを目指す事業	600,000 円
4	特定非営利活動法人西臼杵教育振興連合会 代表者 林 怜史	Covid-19 により孤立化した子どもへの配食事業	600,000 円
合計（4件）			2,100,000 円

4) 体験学習（職場体験）に関する事業の助成

No.	団体名	事業名	助成金額
1	特定非営利活動法人スクール・アドバイ ス・ネットワーク 代表者 生重 幸恵	小中高校生のための「伊藤研修センター」 の特徴を生かした【施設訪問型体験学習】 の推進、及び【教材提供型プログラム】の 推進事業	1,100,000円
合計（1件）			1,100,000円

2 知の冒険事業

1) 「お持ち込み講演会」

講演主旨、内容にふさわしいベストな形でお客様に聴いて頂きたいと考えております。

また、講演会講師、テーマ主旨、会場地域等は、当財団のホームページに今後掲載する予定です。

2) 当財団が考えるコミュニティー事業

助成団体が考える社会的な課題を解く為の事業を共に考え解決策を試行する取り組みを考えています。

No.	団体名	事業名	助成金額
1	つくば少年少女スポーツ障害予防研究会 代表者 岡本 嘉一	学童スポーツ選手障害予防についての啓蒙 と予防活動。	500,000円
2	池上地区まちおこしの会 代表者 吉澤 正宣	人とのつながり創出を目指した会事業の再 構築 -池上地区まちおこしの会 あり方検討を通 じて-	350,000円
3	一般社団法人エス・プレイス 代表者 井上 尚子	アートを楽しむインクルーシブな場づくり ～スペシャル・アート・ファクトories～	160,000円
4	NPO 法人総合地域スポーツ倶楽部ピポッ トフット 代表者 桑田 健秀	おおた健康応援ウィーク	230,000円
5	学びのクリエイターになる！実行委員 会 代表者 近藤 真司	社会教育の再設計シーズン3 ～未来への羅針盤をつくる知の冒険～	1,000,000円
合計（5件）			2,240,000円

3 2021年度助成金合計

No.	助成カテゴリー	助成件数	助成金額
1)	コミュニティー復興、再構築に関する事業	9件	5,446,211円
2)	社会教育&スポーツ	16件	6,350,000円
3)	防災関連&お料理体験講座	4件	2,100,000円
4)	体験学習	1件	1,100,000円
5)	知の冒険事業	5件	2,240,000円
	合計	35件	17,236,211円

採択された助成事業はそれぞれ地域を代表する事業であり、地域のコミュニティーに与える影響力が大きな活動となっています。

日々の暮らしに寄与するNPO法人、団体の存在は地域の財産とも考えますので、当財団としても多角的な視野を持って地域事業を応援してゆくつもりです。

本年度 助成総額 合計 17,236,211円 (35件)

4 2021年度(2021年10月1日～2022年9月30日)財団・助成先往来記録

- 1 令和3年10月18日 オンライン
「社会教育の再設計シーズン3」の件 オンライン打ち合わせ
シーズン3の主旨説明&質疑 東大 牧野篤教授 SF 朝枝晴美氏
- 2 令和3年10月22日 架電 打ち合わせ
ふるさととかかし親の会 岡上正人代表
タイトル「奥播磨かかしの里」として過疎の村おこし 神姫バス、JTBの支援が入り
10月始まったイベント盛況との報告が入る。
- 3 令和3年10月26日 電話受信
NPO法人 NPOホットライン信州 青木正照専務理事
信州子ども食堂ネットの中心組織で、2020年台風被災者支援、コロナ患者の対応中、物心両面のきめ細やかなケアを電話相談に応じて対処しているところ。
- 4 令和3年11月12日 オンライン打ち合わせ
角田市生涯学習課 佐藤克宏とオンライン打ち合わせ
当財団松田道雄理事(尚絅学院大学教授)が宮城県角田市で、若者を中心にした年間の学びの講座の学習指導者を務められます。～まちをつくる私たちの学校『かく大學』
かく大學設立の趣旨・目的・狙い等をお聞きしました。
- 5 令和3年11月18日 面会
日本非常食推進機構 古谷賢治代表 京王プラザホテル1階 面会
賞味期限切れ以降の食品・加工品等について、今後の対応方法の検討について
お聞きしました。
四日市市近郊のいなべ市の総務部防災課に出向、防災倉庫等の整備に尽力中。
R4年1月13日 阿佐谷料理スタジオ見学(アルファー米調理講座を企画)
- 6 令和3年11月21日 オンライン
NPO法人地球対話ラボ 渡辺裕一事務局長 オンライン参加
気仙沼とインドネシアのつながりを生かして～
①同市で働くインドネシア実習生の可能性を広げる
②インドネシアとの新たな関係を理解、多様な価値観を理解する
③地方の異文化のノベーションをおこす
インドネシアカフェ、展示品等を拝見する。
- 7 令和3年11月23日 オンライン
①当財団の評議員会・理事会・監事会の書面決議を実施
②オンライン交流会を6団体(事前打ち合わせ済)、財団役員(17名)スタッフ
テーマ:地域の課題の数々のあり様を理解する。 連携・交流・連鎖
6団体:ア)COCOT イ)スペシャルファクトリー ウ)シメサイ実行委員会
エ)日本非常食推進機構 オ)ふるさととかかし親の会
カ)NPOホットライン信州
- 8 令和3年11月26日 オンライン参加
つくば少年少女スポーツ障害予防研究会主催事業
①「成長期特有の障害～成長痛とは何か～」 田中健太(野上病院整形外科 医長)
②「コロナ渦でのジュニアスポーツ大会開催の考え方」 渡部厚一(筑波大学体育系)
③「冬場の体調管理に効く食生活」 麻見直美(筑波大学体育系)
④怪我との向き合い方 中田浩二(元サッカー日本代表)

- 9 令和3年11月30日 出張
つちうら駄菓子屋楽校 石原之壽代表 於：ローブ霞ヶ浦
松田先生の『だがしや楽校のススメ』を読み、化粧品メーカー退職後、地域おこし活動を始めた。①縁日風景を演出して思い出大型紙芝居を展開 ②音楽朗読劇ヒロシマ実施する。
- 10 令和3年12月8日 来訪
日本非常食推進機構 古谷賢治代表 阿佐谷料理スタジオにて面会、施設案内、来年度にアルファ米調理講座をしたいので会場を探している。
- 11 令和3年12月11日 架電
シメサイ実行委員会 志免祭2020の実施時期の調整 コロナ蔓延のため
実施日変更 4月11日、12日⇒12月12日 シ組、メ組 19日 サ組、イ組 4公演実施
- 12 令和3年12月16日 オンライン会議
LearningCrisis研究会 オンライン打ち合わせ
柴田邦臣津田塾大教授、松崎吉美東洋大助教授（事務局長）、浜松若葉研究生
同法人の開発の「まなキキちゃんえる」基礎学習科目の演習を大学生のナビゲーターによりオンライン家庭教師サポートするもの。特に、特別支援学級に対する支援をしたいとのこと。出席：中曽根聡理事
- 13 令和3年12月17日 架電
わわわやたべや町民会議の沼尻渡会長より、コロナ禍の影響で、地元小中学校の協力を得ることできず、事業を中止したいとこと。（了解す）令和4年1月7日 事業中止届を受領。助成金20万円の内支払い済み分を省き返金の予定。
- 14 令和3年12月18日 オンライン会議参加
主催：認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ
タイトル：感染症対策イベント みんなの事例共有会 ～with コロナ 2022年も、こどもの居場所をつくるために
- 15 令和3年12月20日 訪問
杉並区富士見ヶ丘中学校渋谷正宏校長、クラブ荻窪123より NPO 法人ピボットフット（桑田健秀理事長）紹介を受ける。
イトーヨーカドー大森店2階で大田区主催、ピボットフット協賛の「おおた健康応援ウイーク」3月18日～20日実施する。知の冒険事業で検討・申請書採択（選考委員会承認）
- 16 令和3年12月21日 来訪
講座修了生有志 朝枝晴美代表 面会
『社会教育の再設計～未来の羅針盤をつくる知の冒険シーズン3』主催：東京大学社会教育学研究室 企画協力：学びのクリエイターになる！講座修了生有志 5回講座
知の冒険事業の取り上げ決定済（選考委員会承認） 申請書届受領
- 17 令和4年1月13日 面会
池上地区まちおこし会 事務局 寺崎裕量（大田区池上特別出張所）訪問
吉澤正宣会長、役員へご挨拶
活動テーマ：人のつながり創出を目指した会事業の再構築
「池上地区まちおこしの会」のあり方⇒まちの棚卸、情報整理・体系化、活動の充実策を決定 検討を通じて池上地区を活性化する。
- 18 令和4年1月15日 オンライン
NPO 法人アクションポート横浜の『横浜アクションアワード2022』第一次プレゼン
応募7団体オンライン審査参加

公開第二次プレゼン

【開催日時】2022年2月26日(土) 13:00~17:00 【会場】横浜市役所 アトリウム

- 19 令和4年1月17日 面会
NPO法人SAネット 生重 亮理事よりDVDの教材受領
7&Iホールディング横浜研修所における小・中・高生徒の職場体験事業につき、2年間 コロナ禍により実施できず。
研修センターでの学習内容をもとに、学習指導要領に沿った内容でDVDの教材提供版を作成した。まだ研修センターでの体験学習はできぬがDVDを使って教室で先生が授業を進めるという方法です、日本国内のどこでも学習ができる。
- 20 令和4年1月27日 オンライン 意見交換
松田理事(尚絅学院大学 松田 道雄教授)のご紹介で荒川区生涯学習課乗松優さんと意見交換。
荒川区コミュニティーカレッジ令和4年度(あらかわ地域交流コース)募集
テーマ:他地域との交流で「あらかわ」を知り、地域活動につなげよう。
- 21 令和4年1月19日 架電 コロナ禍の影響
ふるさとのかかし親の会 岡上 正人代表~広報事業予算の執行について意見交換
1)開催時期について
第1回4月10日(日)と、第2回5月4日(水)みどりの日
2)イベント内容について
見物客に野良着を着てもらって集落内を巡り、かかしと一緒に写真を撮っていただく企画
5月4日については「かかし製作ワークショップ」を開催
3)その他の企画
「ひなまつり」イベント「野外カフェ」「奥播磨かかしの里の13人」を登場させる。
- 22 令和4年1月30日 オンライン 参加
池上地区まちおこし会主催「いけまち談義」~池上のこれまでとこれから
ユーチューブ配信 <https://www.youtube.com/watch?v=zTgrIga6PX0>
- 23 令和4年2月2日 架電
NPO法人トッピングイースト 清宮陵一代表
2020年度(令和3年9月末)コロナ禍で8回講演会実施が遅れていた。
<http://www.toppingeast.com/>⇒プロジェクト ⇒「隅田川自治Bダイアログ」で
8回の講演会公開
- 24 令和4年2月3日 オンライン
NPO法人地球対話ラボ 渡邊裕一事務局長
気仙沼在のインドネシア実習生が市民として地域の方々と交流する事業に傾注してほしい。同法人HPの内外でもよいので、「つながる気仙沼プロジェクト」HP新設
- 25 令和4年2月16日 オンライン
ラーニングライシス研究会(津田塾大・柴田邦臣准教授代表)事業発表会
①ポストコロナの学び
②まなキキ社会科見学~ワーカーズホーム(沖縄) <https://www.youtube.com/watch?v=0gxpZ8XosoE>
③AI人事は能力を公平に評価しうるのか
- 26 令和4年2月18日 オンライン
公)助成財団センターの「助成事業の自己評価について」勉強会参加
- 27 令和4年2月10日 オンライン視聴
社会教育の再設計II講演会

- 1) 人と情報が集まるまちの茶の間 (2月10日 横山太郎・医師)
 - 2) こえとことばとこころの部屋 (2月17日 上田假奈・詩人)
 - 3) 地域と学校を繋げる (2月24日 栗栖真理 NPO 代表)
 - 4) 知の力~世代をつなぐサードプレイス (3月3日 竹原和泉 NPO 代表)
 - 5) まちのお茶の間~岡さんのいえ TOMO (3月10日 小池良美オーナー)
- 28 令和4年2月11日 参加
NPO 法人 SA ネット 伊藤研修センターで実施の体験学習の DVD 版作成使用上の研修会 於：杉並区立天沼小 伊藤研修センタースタッフ参加
- 29 令和4年3月14日、5月22日 電話
わわわやたべ町民会議 沼尻 渡代表より コロナ禍で小中学生の参加が難しくなり、事業中止したいとの申し出であり。30万円助成 内96221円消化、残金返却(7月28日)とすること決定。(事業中止届提出)
- 30 令和4年3月18日 参加
NPO 法人ピボットフット (桑田健秀理事長)
イトーヨーカドー大森店 2階で大田区主催、ピボットフット協賛の「おおたく健康応援ウィーク」3月18日~20日実施する。知の冒険事業で助成 (選考委員会承認)
- 31 令和4年3月28日 訪問
ラーニングクライシス研究会・松崎吉美東洋大助教授 (事務局長) 於：和泉学園校長室 杉並区立和泉学園 畠山宏樹副校長に面会~同校特別支援学級に「まなキキサイト」を活用する案について打ち合わせ 中曽根聡理事同席
- 32 令和4年4月10日 オンライン会議視聴
シメサイ実行委員会 菅原 太代表より
2021年度 4月10日、11日 コロナ禍で中止 WEB 会議実施
<https://www.youtube.com/watch?v=jCanMrh4Vrs&t=10s>、 10日
2022年度 4月15日、16日の予定で実施。
- 33 令和4年4月28日 当財団の事務局会議
事務局会議1回目 5月5日 事務局会議2回目
6月4日3回目、6月10日、8月5日
①コロナ禍の影響でNPO活動が低下する中での2022年度の応募要項等の検討、スケジュールは昨年とほぼ同じ。
応募期間：6月10日~7月31日 選考会：8月26日 採否結果：9月下旬~10月上旬
助成開始：10月上旬
申請書のスタイル：課題解決型と課題解決の探求型
②財団 HP： 6月10日助成公募概要を掲載
- 35 令和4年4月29日 オンライン視聴
「社会教育の再設計III」の主催者・東大牧野篤教授が、すぎなみおとな塾連のウェブナー講座に出演す。
- 36 令和4年5月30日 受信相談
みたか防災マルシェ2020 山崎 光代表より
コロナ禍でみたか防災マルシェ2020の事業縮小、助成金30万円の内、15万円未消化となる。(事業実績報告書受領済)
2022年度9月10日~11日に三鷹防災マルシェ2022(三鷹市主催)の実行委員会にみたか防災マルシェ2020 山崎 光代表参加、残額を持参金とする事了承。
- 37 令和4年6月6日 架電

つちうら駄菓子屋楽校 石原之壽代表より

6月4日、5日に行う紙芝居、子ども広場～親子遊びの概況報告あり。

- 38 令和4年6月18日 オンライン視聴
つくば少年少女スポーツ障害予防研究会（岡本嘉一代表）市民公開講座
タイトル：本番で実力を発揮するには
金井貴夫スポーツドクター医師 鈴木雷太（マウンテンバイク選手）他
- 39 令和4年6月22日 来訪
アクションポート横浜 高城芳之代表 学生ボランティアスタッフ2人
意見交換並びに2022年度の事業概要の説明 於：すぎなみ協働プラザ
- 40 令和4年6月24日 近況報告受電
せんだいわらアート実行委員会（広瀬剛史代表）
仙台市若林区荒浜地区に進出している農園・果樹園・温泉施設・冒険ひろば・馬術場等の法人との付き合いを強める方策をしていく。
- 41 令和4年6月25日 メール&架電
事業実績報告書の期限切れ未達先・・・コロナ禍の影響
①つくば少年少女スポーツ障害予防研究会②体験型安全教育支援機構
③いろどりライフ 2020年度
④NPO みなとしほがま 2019年度 4件到着（7月）
- 42 令和4年7月19日 協力依頼架電
一社）エヌ・プレイス（井上尚子代表）
楠元孝夫評議員の設計施工のマリンタワー改修工事が8月中旬完成、2階は横浜観光コーナーとなる。
同場所に白板（縦3メートル×横16メートル）あり。同法人のインクルーシブお絵描き班が協力して8月11日にお絵描き完了。
横浜の協力先に電話依頼：アクションポート横浜、つきしみの学校
- 43 令和4年7月20日 訪問
NPO法人うきま.jp 佐藤加代子代表 同場所でPC修理業兼業
北区教委他・警察・消防署等よりの依頼案件の取材物作成の上、区広報誌や区限定ユウチュウブに掲載。
自主的な案件を増やしていきたい。
- 44 令和4年7月29日 訪問
NPO法人びーのびーの CoCoひよし（子どもの居場所・助成案件）見学
野村プラウドシチー日吉（1300世帯）の一角に建設され横浜市立箕輪小の隣。
箕輪小開門前に生徒が集まり騒音等のクレーム発生。 CoCoひよしは朝30分、
夕方14時半～16時まで開設することになった。
- 45 令和4年7月30日 訪問
横浜マリンタワー改装中、2階で壁画を作成する白板等の環境を確認するために
楠元孝夫評議員&スタッフの方々に面会。8月11日 お絵描き実施。
- 46 令和4年7月31日 財団助成の公募期間終了
応募申請書80件、昨比20%減、2021年、2022年設立の法人申し込み15件と多い。
コロナ禍の影響と考えられる。
- 47 令和4年8月10日 新谷大輔理事 LDNに転勤のため9月より赴任。
すぎなみ大人塾連と合同で送別会実施。 於：西荻 BASE

- 48 令和4年8月9日より22日まで、財団応募申請書（80件）の第一次事務局評価を実施。
8月26日 財団助成先の選考委員会実施
選考委員：中曽根聡理事、吉田健司理事、新井雅夫評議員、小池太郎評議員、事務局スタッフ5人
- 49 令和4年8月29日 オンライン視聴
公財）助成財団センター新旧会長交代
山口正之代表理事（新） 山岡義典会長（旧）のウェビナーご挨拶
- 50 令和4年9月1日 出張
楠元孝夫評議員(TK スクエア設計施工)：改修工事終了した横浜マリントワー
9月1日オープンご披露
- 51 令和4年9月9日 出張 打ち合わせ&オンライン
荒川区地域スポーツ部生涯学習課 乗松優指導員
松田道雄尚絅学院教授（財団理事）が学習指導者を務める荒川区主催の荒川コミュニティーカレッジ
（あらかわ地域交流コース20回令和4年4月~令和5年3月）の講座内容につき打ち合わせ
10月8日（11回目・中間振り返り）進行：松田道雄尚絅学院教授
ゲストとして東島出席
- 52 令和4年9月16日 財団 理事・監事宛 2022年度事業計画、収支予算書等の書面決議の同意書決議の依頼書を送付する。書面決議日：9月23日
- 53 令和4年9月24日 地球対話ラボの成果発表会 オンライン
気仙沼のインドネシア技能実習生の仕事・生活・環境等を中心に報告と意見交換

5 2022年度の予定

年月日		行事
2022年	11月8日	理事会（書面決議） （決議事項） 1. 事業報告・決算書承認の件 2. 評議員会招集の件
	11月23日	評議員会（Web会議） （報告事項） 1. 寄附受領の内容報告の件 2. 事業報告の内容報告の件 3. 事業収支予算書・事業計画書の内容報告の件 （決議事項） 1. 決算書承認の件 2. 理事選任の件 3. 監事選任の件 4. 議事録署名人選出の件
	11月23日	理事会（Web会議） （決議事項） 1. 理事長選定の件 2. 選考委員および委員長選出の件
	11月23日	助成先との交流会（Web会議）
2023年	6月10日～7月31日	助成団体応募期間
	8月下旬	選考委員会
	9月23日	理事会（開催予定） （決議事項） 1. 事業計画書、収支予算書承認の件
	11月上旬	理事会（書面決議） （決議事項） 1. 事業報告・決算書承認の件 2. 評議員会招集の件
	11月23日	評議員会（開催予定） （報告事項） 1. 事業報告の内容報告の件 2. 事業収支予算書・事業計画書の内容報告の件 （決議事項） 1. 決算書承認の件 2. 議事録署名人選出の件

以上